

24時間低風量換気機能付  
浴室換気・乾燥・暖房機〈天井埋込型〉

# 施工説明書








品番：BS-763HII/BS-763HII NL

販売店・工事店さま用

**【注意】**・浴室天井に取付用開口（410×285mm）が必要です。  
・本製品は、本体を浴室天井面の下から取り付ける方式となっております。






## 1 安全のために必ずお守りください

- 取付けの前に、この事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
- この項に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 表示の意味は次のとおりになっています。
- 図記号の意味は次のとおりになっています。









 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		「禁止」を表します
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。		「分解禁止」を表します
			「接触禁止」を表します
			「必ず行うこと」を表します
			「D種接地工事によるアース線を必ず接続すること」を表します

■取付施工完了後、この項の注意事項が守られているか確認のうえ、試運転を行い異常がないか確認し、取扱説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様がいつでも見られる所に必ず保管するようお願いしてください。

### 警告

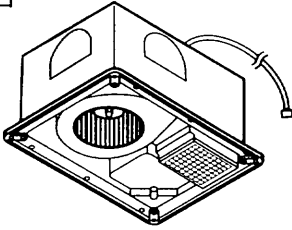
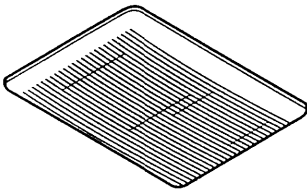

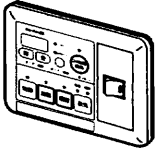
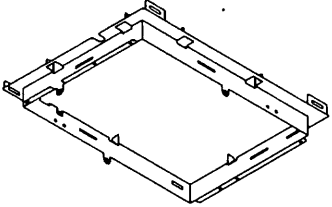
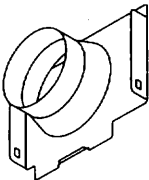
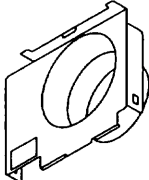
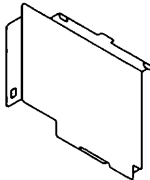
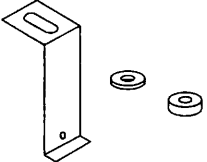


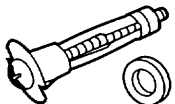

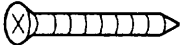

	内釜式風呂を設置した浴室では使用できません。 ☆排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すことがあります。		メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板と電氣的に接触しないように取り付けてください。 ☆漏電した場合、発火することがあります。
	アースをD種接地工事に基づいて確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。 ☆故障や漏電のときに感電する恐れがあります。		改造はしないでください。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしないでください。 ☆火災・感電・けがの原因となります。 修理はお買い上げの販売店または弊社へご相談ください。
	指定電圧以外では使用しないでください。 <b>指定電圧</b> AC100V ☆火災・感電の原因となります。		

### 注意

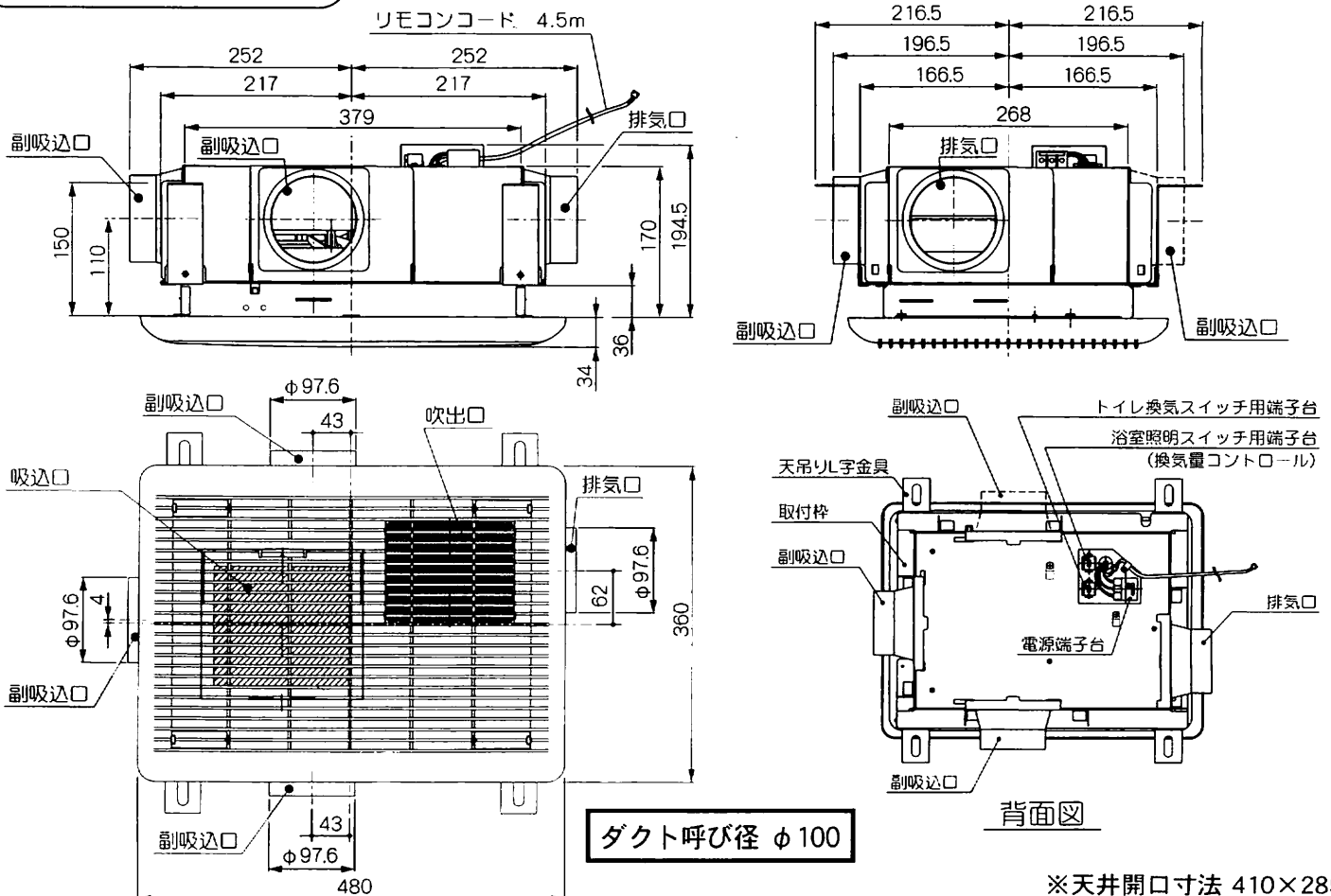
	この浴室換気・乾燥・暖房機の重量は約9.1kgあります。本体取付工事は十分強度が得られるようスラブにアンカーボルトで吊るし、確実に行ってください。 ☆落下により、けがをする恐れがあります。		配線工事は、電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行ってください。 ☆接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
	電源電線の接続は確実に行ってください。 ☆接続部が過熱して発火の恐れがあります。		本体やリモコンを洗浄したり、雨ざらしにしないでください。 ☆火災や故障、感電の原因になります。
	部品の取付けは確実に行ってください。 ☆落下により、けがをする恐れがあります。		リモコンは、浴室の外に取り付けてください。 ☆感電の恐れがあります。
	電源は専用回路とし、途中にスイッチを設けないでください。 ☆火災や故障の原因になります。		フロントパネルをはずして、ファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。 ☆感電、けが、やけどの恐れがあります。

# 3 各部の名称と寸法 [単位:mm]

## 梱包内容 (換気ユニット 1台あたり)

本体 1台  リモコンコード (4.5m付属品付)	フロントパネル 1個 	リモコン (品番に対応したもの) 1個		
		BS-763H II 	BS-763H II NL 	
取付枠 1個 	副吸込ダクト 接続口 2個 	排気ダクト 接続口 1個 	遮へい板 1個 	天吊りL字金具 4個 金属ワッシャー 8個 防振ゴム 8個 
本体取付用ねじ ..... 4本 (+トラスラミタイト4×12) 	施工説明書 1枚 この施工説明書を表します。 ※必ずお客様にお渡しください。 取扱説明書 1冊 ※必ずお客様にお渡しください。	副吸込グリル 2組 	モリーアンカーワッシャー 各8個 	
フロントパネル取付用ねじ ..... 4本 (+パインドタッピン4×16) 				
リモコン取付用ねじ ..... 4本 (+皿タッピン4×35) 				
天吊りL字金具取付用ねじ ..... 4本 (+セムス小ねじM5×8) 				

## 本体外形寸法図



※天井開口寸法 410×285

## 2 気をつけていただきたいこと

### ●この浴室換気・乾燥・暖房機は、浴室天井取り付け専用です。

製品の取り付けには、下記のような設置基準がありますので、其他のご注意と合わせてご確認ください。  
 なお、地域によっては指導が異なる場合がありますので、所轄の行政官庁または消防署にご確認ください。

### ■東京消防庁火災予防条例による設置基準

浴室乾燥暖房機は火災予防条例の「天井埋め込み型衣類乾燥・暖房等電気機器の設置に係る運用について(通知)」に基づいて適用されます。本製品は、この設置基準に適用する機器として認められています。

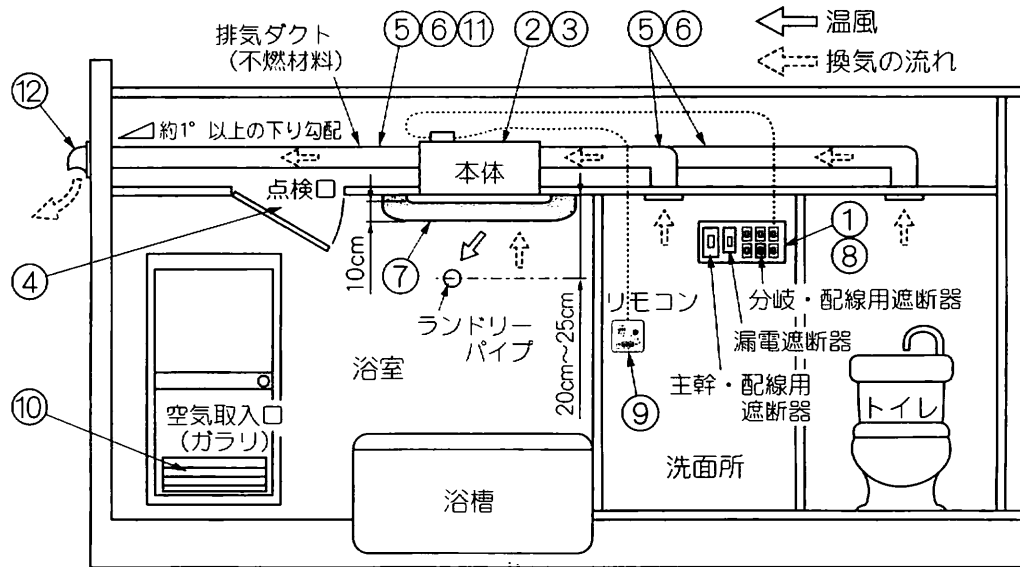
#### 設置基準

- ① 漏電遮断器を設け、機器本体のアース端子に規定のアース線を確実に接続してください。
- ② 機器本体は上階スラブや天井などに堅固に取り付けてください。
- ③ 機器本体は可燃物との距離を開ける必要はありません。
- ④ 機器本体に近接する部分に、機器本体の点検・清掃に必要な点検口を設けてください。
- ⑤ ダクトの材質は、不燃材料で造られたものをご使用ください。
- ⑥ ダクトは専用としてください。
- ⑦ 浴室内の温風吹出口および空気吸込口の前方10cm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けないでください。

### ■其他のご注意

「**1 安全のために必ずお守りください**」の項をよくお読みいただき、さらに次の事項をあわせてお守りください。

- ⑧ 電源は専用の配線用遮断器(安全ブレーカー20A)から配線し、途中にスイッチを設けないでください。
- ⑨ リモコンは、必ず浴室外に取り付けてください。決して浴室内に取り付けしないでください。故障の原因になります。
- ⑩ 換気風量を確保するため、浴室ドアに空気取入口(ガラリ)を必ず設けてください。(有効開口面積100cm<sup>2</sup>以上)
- ⑪ 排気ダクトは、屋外に向かって約1°以上の下り勾配にして、雨水や結露水の逆流を防止してください。
- ⑫ 排気ダクトの外壁面には、ベントキャップやウエザーカーパーなどを取り付け、雨水や鳥などの侵入を防いでください。



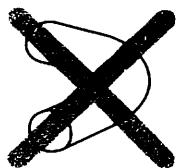
### ■次のような特殊な環境でのご使用は避けてください。

温泉など腐食しやすいガスが出る場所、異常に高温になる場所などでの設置はしないでください。  
 故障の原因になります。

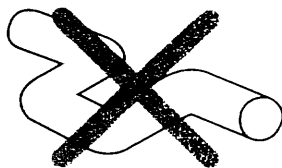
### ■次のようなダクト工事はしないでください。

風量低下の原因になります。

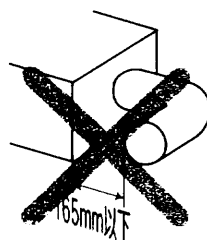
○極端な曲げ  
 (90°以上曲げな  
 いでください。)



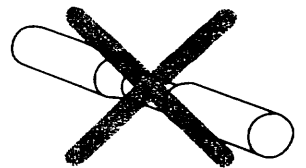
○多数の曲げ  
 (曲げ数が多くなれば  
 風量が低下します。)



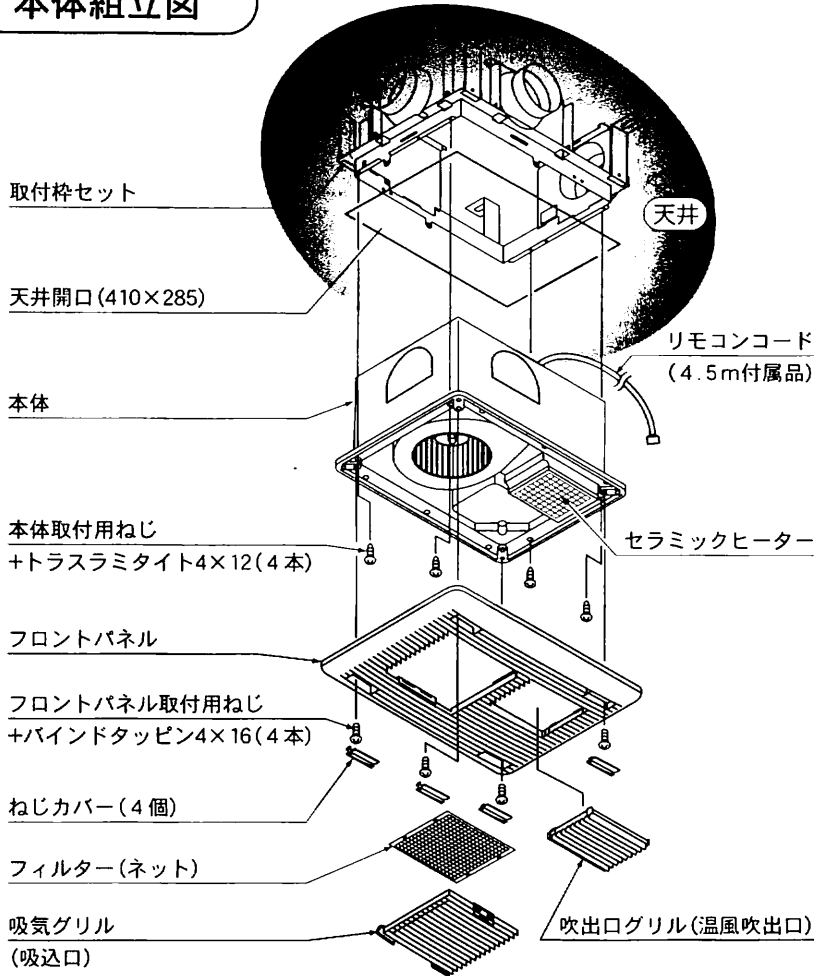
○排気口のすぐそばでの曲げ



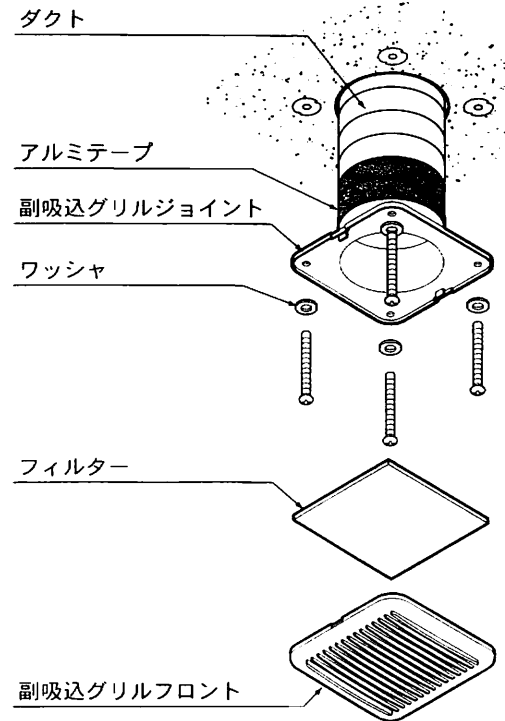
○接続ダクト径を極端に  
 小さくする。(しぼり)



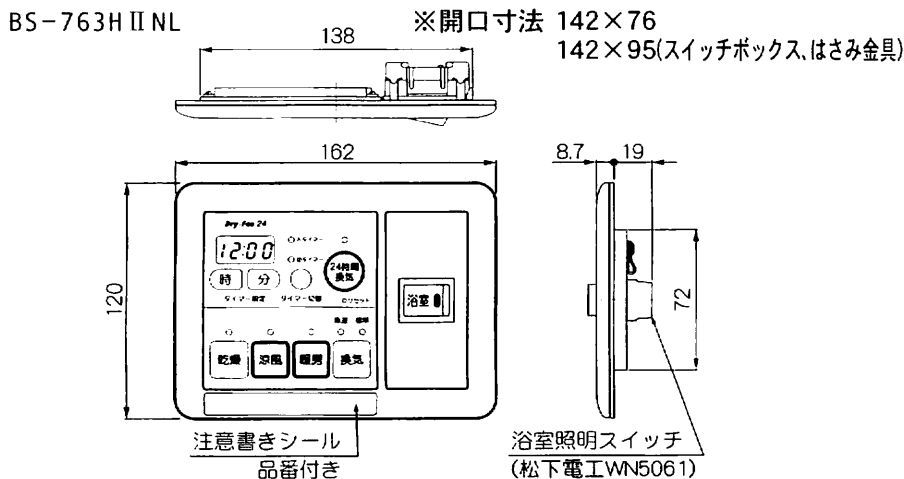
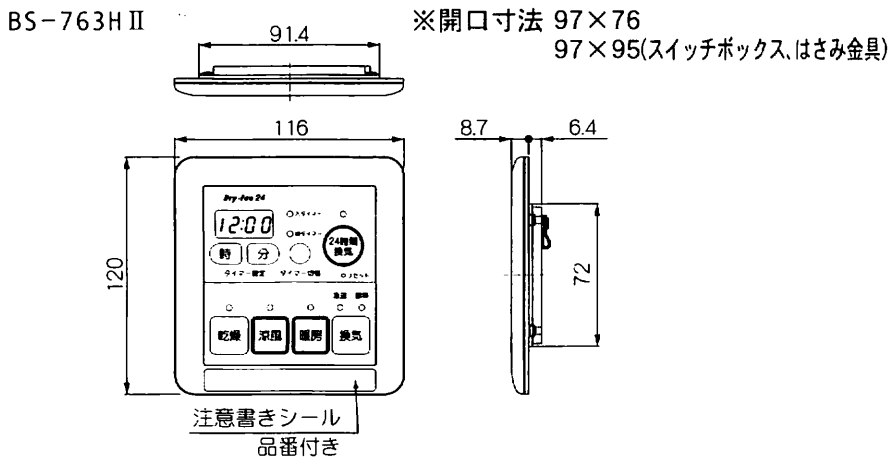
## 本体組立図



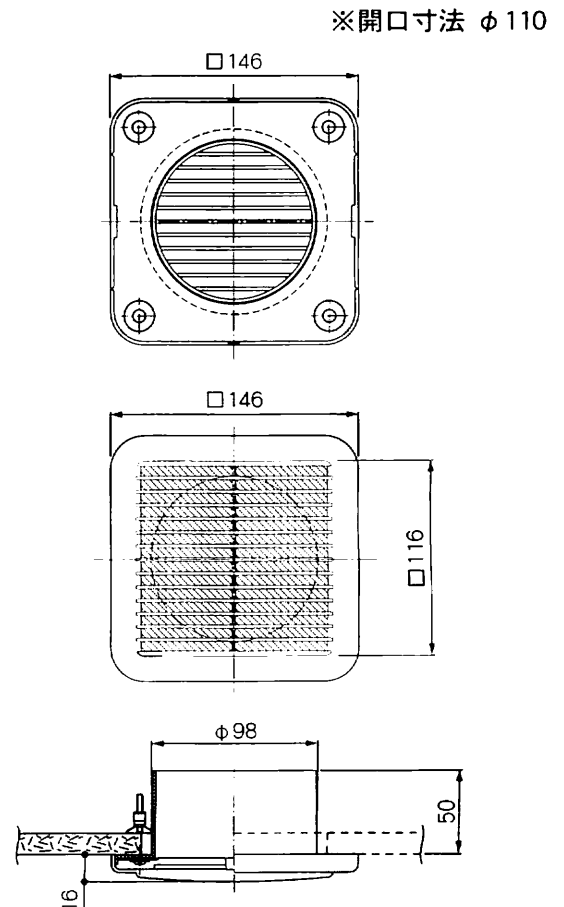
## 副吸込グリル組立図



## リモコン外形寸法図



## 副吸込グリル外形寸法図

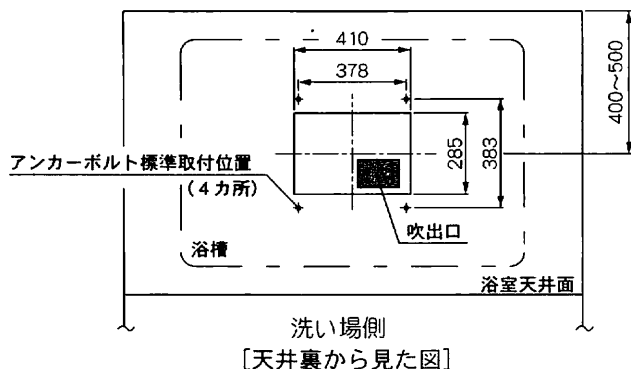


# 4

## 取付前の準備 [浴室の天井板に410×285mmの開口部を設けてください。]

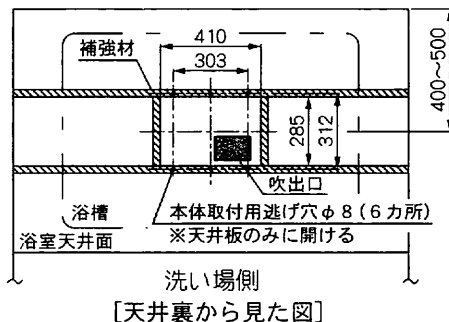
- 浴室換気・乾燥・暖房機の取付位置は、下図位置が推奨位置となり、浴槽の上で吹出口が洗い場側に向くのを標準的な取付方向としてください。但し、吹出口が反対でも機能上問題ありません。その他、浴室・建物の構造条件に応じて取付方向・位置をご検討ください。また、洗濯竿の取付位置(推奨位置)が裏面に記載されています。洗濯竿が推奨位置に取り付くか確認してください。障害物等があり取り付かないとき、乾燥性能を重視する場合は本体取付位置と洗濯竿の位置関係を温風が洗濯物によく当たる範囲内で変更してください。
- 裏面の本体取付寸法図(縮尺1/4)を参照し、アンカーボルト(M10;現場調達)4本を取り付けてください。
- 浴室の天井板に下図位置に410×285mmの開口部を設けてください。
- 天井板が塩ビ鋼板の場合は、必ず開口部小口に錆び止め材を施してください。
- 本体を補強材に取り付ける場合は、市販のSUS丸木ねじ4.1×32(オプション)が必要になります。またこのときの天井板の厚さは、補強材を含めて35mm以下としてください。

### 天吊り仕様の場合



### 補強材に取り付ける場合

- 部分に補強材を設けてください。浴室天井板に本体取付用逃げ穴(φ8)6カ所を必ず開けてください。



# 5

## 取付枠の組立および取り付け

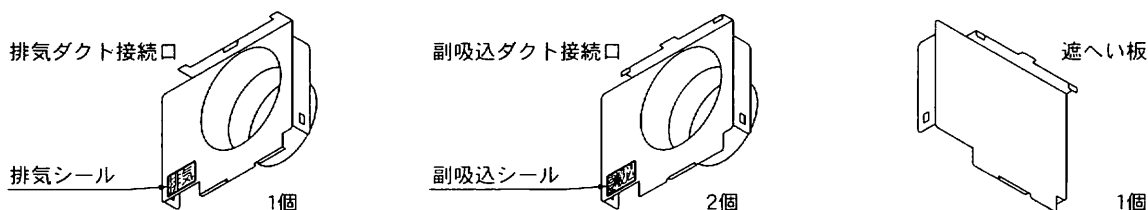
**[注意]** 取り付け工程の手順は現場の状況に合わせて調整してください。

### 天吊り仕様の場合

### 補強材に取り付ける場合

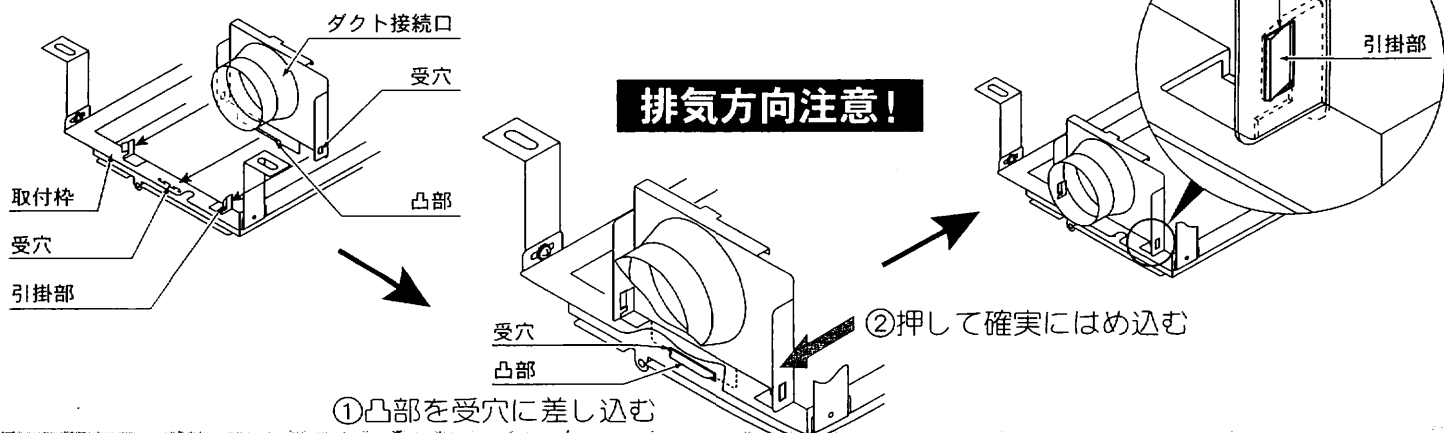
#### □ 各ダクト接続口、遮へい板の取り付け

取付枠に取り付ける部品は、排気ダクト接続口(1個) 副吸込ダクト接続口(2個)、遮へい板(1個)の計4個です。尚、排気ダクト接続口と副吸込ダクト接続口は、形状が似ていますので、ご注意ください。(貼りつけてあるシールに区別が書かれてあります。)



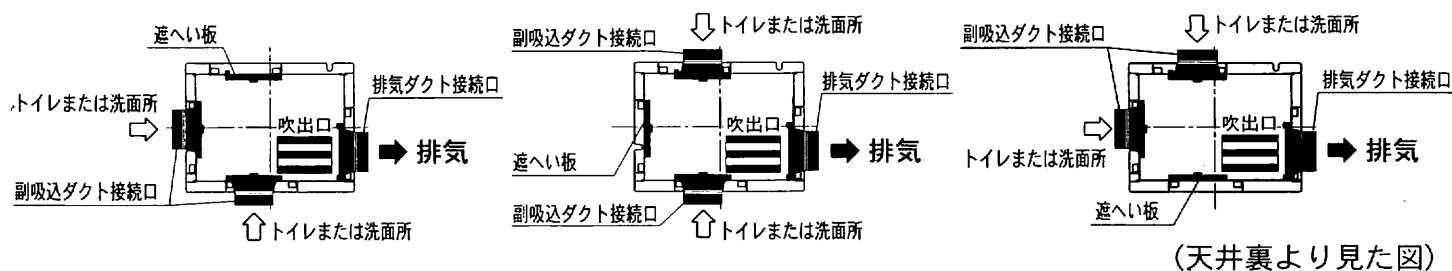
#### ● 各ダクト接続口・遮へい板の取付方法

各ダクト接続口・遮へい板の凸部を取付枠の受穴に差し込みながら、①各ダクト接続口・遮へい板の両側フランジ部の受穴を取付枠の引掛部にハマり込むように確実に接続してください。②



各ダクト接続口を現場の設計プランにあうように、各ダクト接続口・遮へい板の取り付け可能形態を参考に取付けてください。

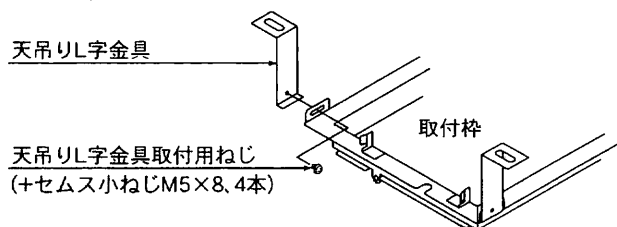
**[注意]** 各ダクト接続口の方向、特に排気方向には十分に気をつけて取付けてください。



## 天吊り仕様の場合

### □ 天吊りL字金具の取り付け

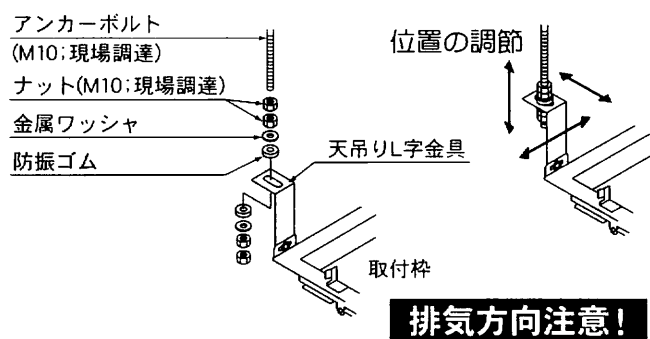
取付枠に天吊りL字金具4個を付属の天吊りL字金具取付用ねじ(+セムス小ねじM5×8) 4本で取付けてください。



### □ 取付枠の取り付け

※取り付け前に必ず排気方向を確認し、取付枠の排気シールを排気方向に合わせ取付枠を確実に取付けてください。

排気方向を確認し、取付枠をアンカーボルトにナット(M10;現場調達)及び付属の金属ワッシャ、防振ゴムを使用して、取付枠が天井開口に合うように天吊りL字金具(4ヶ所)を調節して位置合わせをし、取付けてください。

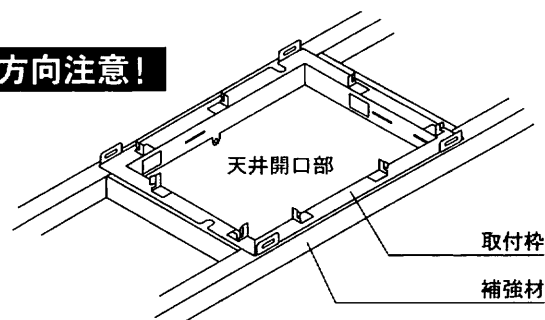


## 補強材に取り付ける場合

### □ 取付枠の取り付け

取付枠を天井開口に合うように天井裏に置いてください。

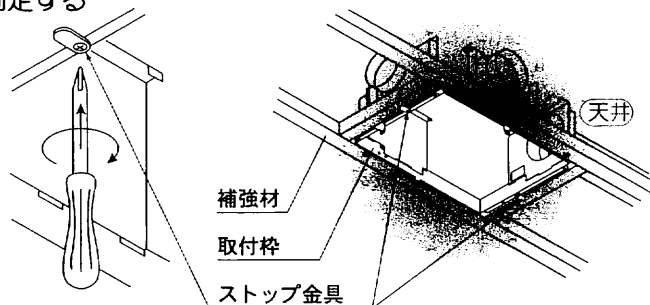
**排気方向注意!**



### ■ 取付枠の固定

取付枠下部のストップ金具(2ヶ所)を固定してください。

固定する

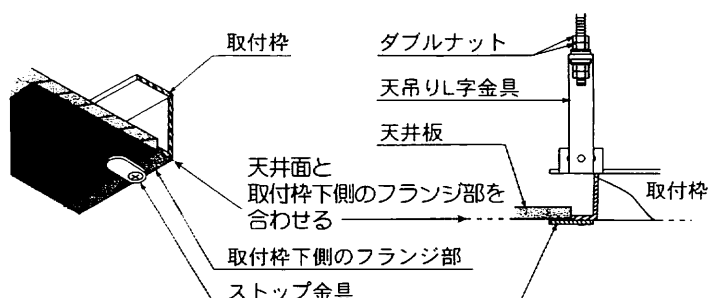
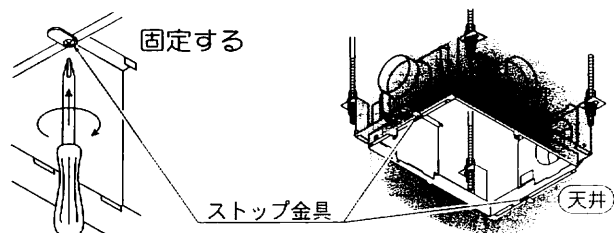


**[注意]** ストップ金具は、本体取り付けの際、取付枠が天井開口部の奥へ逃げてしまうのを防ぐためのものです。しっかり固定してください。

### ■ 取付枠の固定

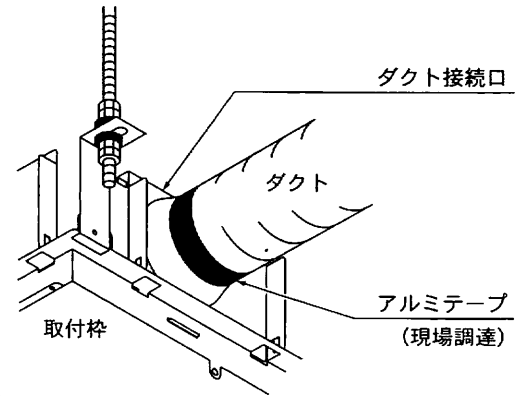
取付枠下部のストップ金具(2ヶ所)を固定してください。

天井面と取付枠下側のフランジ部の位置を合わせダブルナットで確実に固定してください。このときストップ金具を利用すると、より正確かつ容易に位置合わせを行うことができます。



## 6 ダクト施工

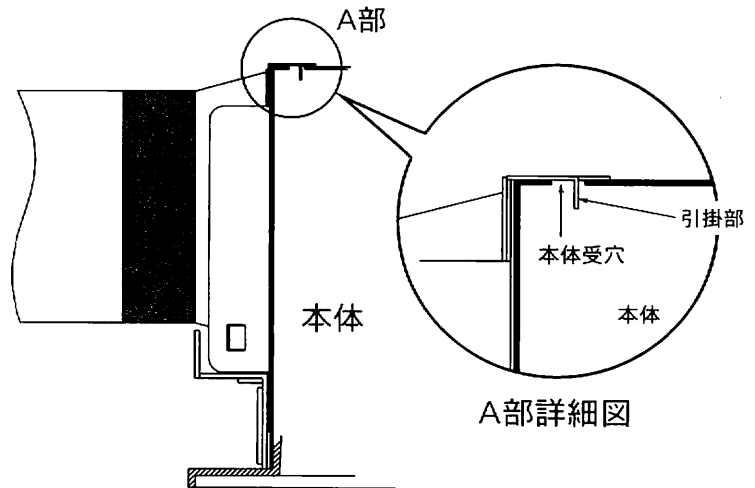
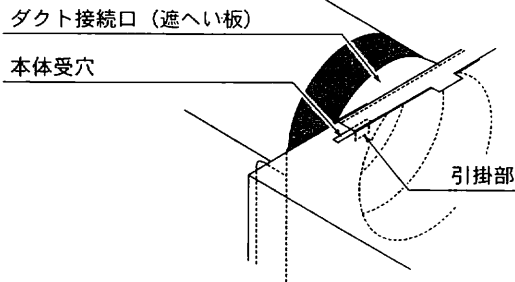
- ① ダクトを各ダクト接続口に差し込み、アルミテープ(現場調達) を巻いて風漏れがないように固定してください。
- ② ダクトは、本体に力が加わらないよう天井から吊してください。
- ③ 各ダクト接続口が垂直に固定されていることを確認してください。



- ④ 排気・洗面所・トイレの各方向を間違えていないか再度確認してください。  
 ※ 排気ダクトの外壁面には、市販のペントキャップ、ウエザーカバーなどを取り付けてください。  
 ※ 排気ダクトは屋外に向かって約1° 以上の下り勾配にしてください。

## 7 本体の取り付け

- ① 本体を天井開口部の取付枠に差し込み、本体受穴と各ダクト接続口・遮へい板の引掛部がはまり込むように取り付けてください。また取付枠には逆取り付けを防止する突起がついています。本体の溝に突起がはまり込むように、確実に取り付けてください。



### 天吊り仕様の場合

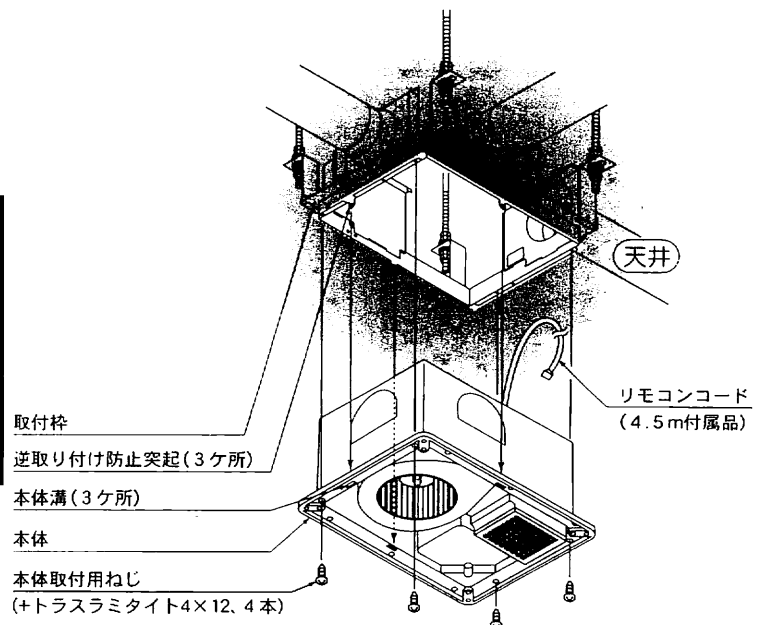
- ②-1 本体を付属の本体取付用ねじ(+トラスミタイト4×12) 4本で、取付枠に確実に取り付けてください。

### ⚠ 注意



取付注意

本体が取付枠にしっかりと納まっているのを確認してから、ねじで取り付けてください。  
 取り付けの際、リモコンコードを挟み込まないようにしてください。



### 補強材に取り付ける場合

### ⚠ 注意



取付注意

ストッパ器具は、本体取り付けの際、取付枠が天井開口部の奥へ逃げてしまうのを防ぐためのものです。本体取り付けの前にしっかり固定していることを確認してください。

②-2

- (a) 本体を付属の本体取付用ねじ(+トラスラミタイト4×12) 4本で、取付枠に確実に取り付けてください。
- (b) 本体を市販のねじ(SUS丸木ねじ4.1×32(オプション)) 6本で、補強材に確実に取り付けてください。

## ⚠ 注意



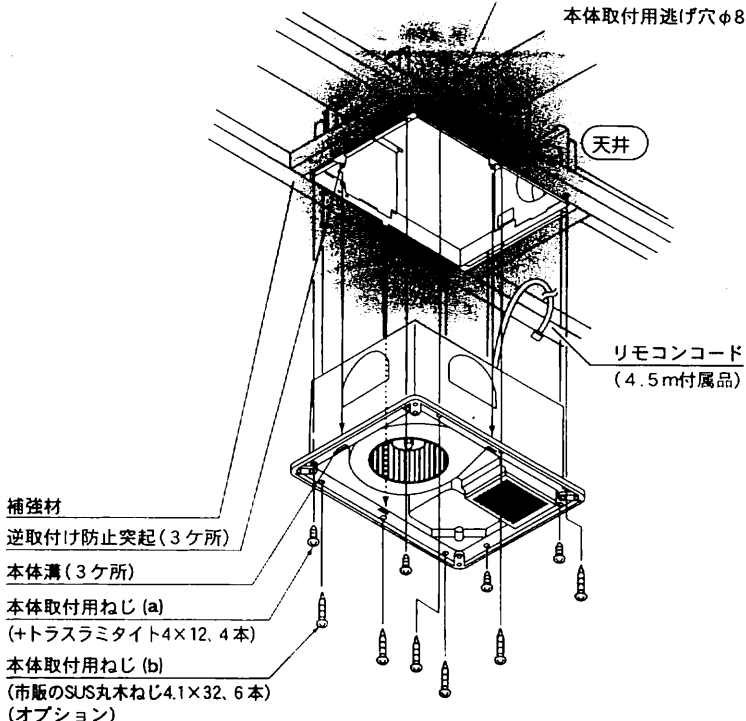
取付注意

本体が取付枠にしっかりと納まっているのを確認してから、ねじで取り付けてください。

取り付けの際、リモコンコードを挟み込まないようにしてください。

- ③ 本体受穴に各ダクト接続口、遮へい板の引掛部が確実にハマり込んでいるか再度確認してください。

本体取付用逃げ穴φ8



## 8 副吸込グリルの取り付け

- ① 洗面所・トイレの天井の指定場所に副吸込みグリルが入る開口φ110mmを開けてください。
- ② 天井のクロス貼り後、クロスを切り取り、副吸込グリルジョイントを穴に差し込み、取付位置に固定し、取付ねじ位置4ヶ所に印をつけてください。副吸込グリルジョイントを外し、印位置(取付ねじ位置4ヶ所)に、φ7.0mmの下穴を開けてください。
- ③ 下穴4ヶ所にモリーアンカーを差し込み、ねじをしめ上げてください。締め上げ完了後、ねじを抜いてください。

## ⚠ 注意



取付注意

ねじの締め上げ完了位置は右図を参照とし、ねじはゆっくりと締め上げてください。ねじを強く締め上げると、モリーアンカー本体が空転し、天井ボードの破損やクロスが破ける恐れがあります。

- ④ 穴から洗面所・トイレ側の各ダクトを引き出してください。ダクトを副吸込グリルジョイントに差し込み、アルミテープで巻き、風漏れがないように確実に固定してください。副吸込グリルジョイントを穴に差し込み、ねじをワッシャに通し固定してください。
- ⑤ 副吸込グリルフロント内にフィルターをセットし、副吸込グリルジョイントの凹部と副吸込グリルフロントの凸部が合う方向で取り付けてください。

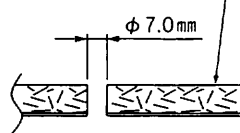
## ⚠ 注意



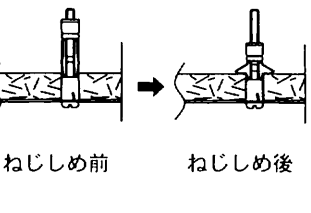
取付注意

副吸込グリルフロントは取付方向が決まっています。凹凸部を無視してむりやり取り付けることは絶対にしないでください。グリルフロントが落下し、けがをする恐れがあります。

天井ボード(12mm以下)



アンカー下穴詳細図



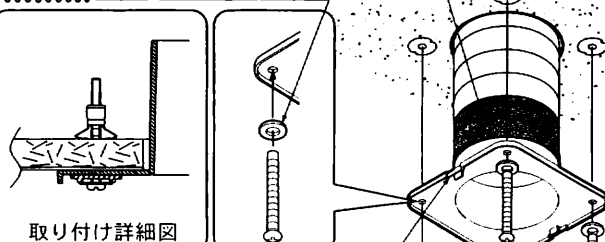
ねじ締め前

ねじ締め後

モリーアンカー

アルミテープ

**注意!**  
ワッシャを必ず取り付けること!



取り付け詳細図

副吸込グリルジョイント凹部

ワッシャ

フィルター

副吸込グリルフロント凸部



**注意**



取付注意

- 電気工事は電気設備技術基準や内線規定に基づき、電気工事士の免許を持った方が行ってください。
- 電気工事は必ず分電盤の浴室換気・乾燥・暖房機のブレーカーを切って行ってください。
- 電気工事は結線図を参照し行ってください。

**電源電圧に注意!!**

**指定電圧 単相AC100V**

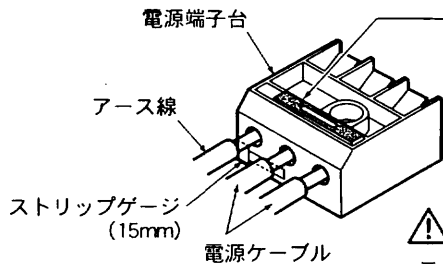
**注意**

D種接地工事によるアース線を確実に接続してください。

**注意**

電源接続方法

1. 電源端子台正面のストリップゲージに合わせ、電線被覆を15mmむいてください。
2. 端子穴に心線を「ぐっと」奥まで確実に差し込んでください。
3. 差し込み不完全な場合、発熱する恐れがあり、焼損や火災の原因になります。



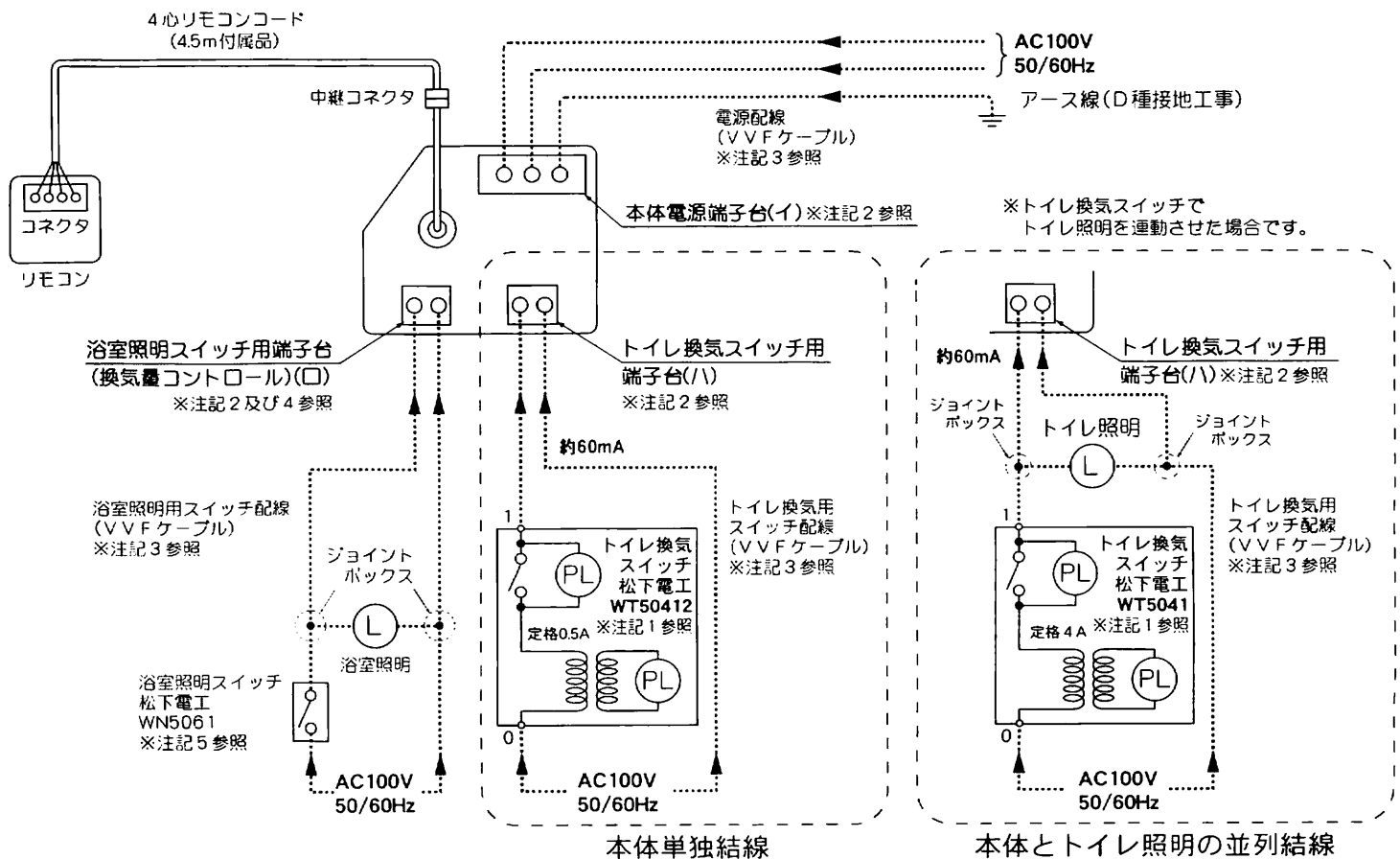
電源ケーブル又は、アース線をはずす時は、この釦に電工ドライバー(小)を当て、強く押し引き抜いてください。

**注意**

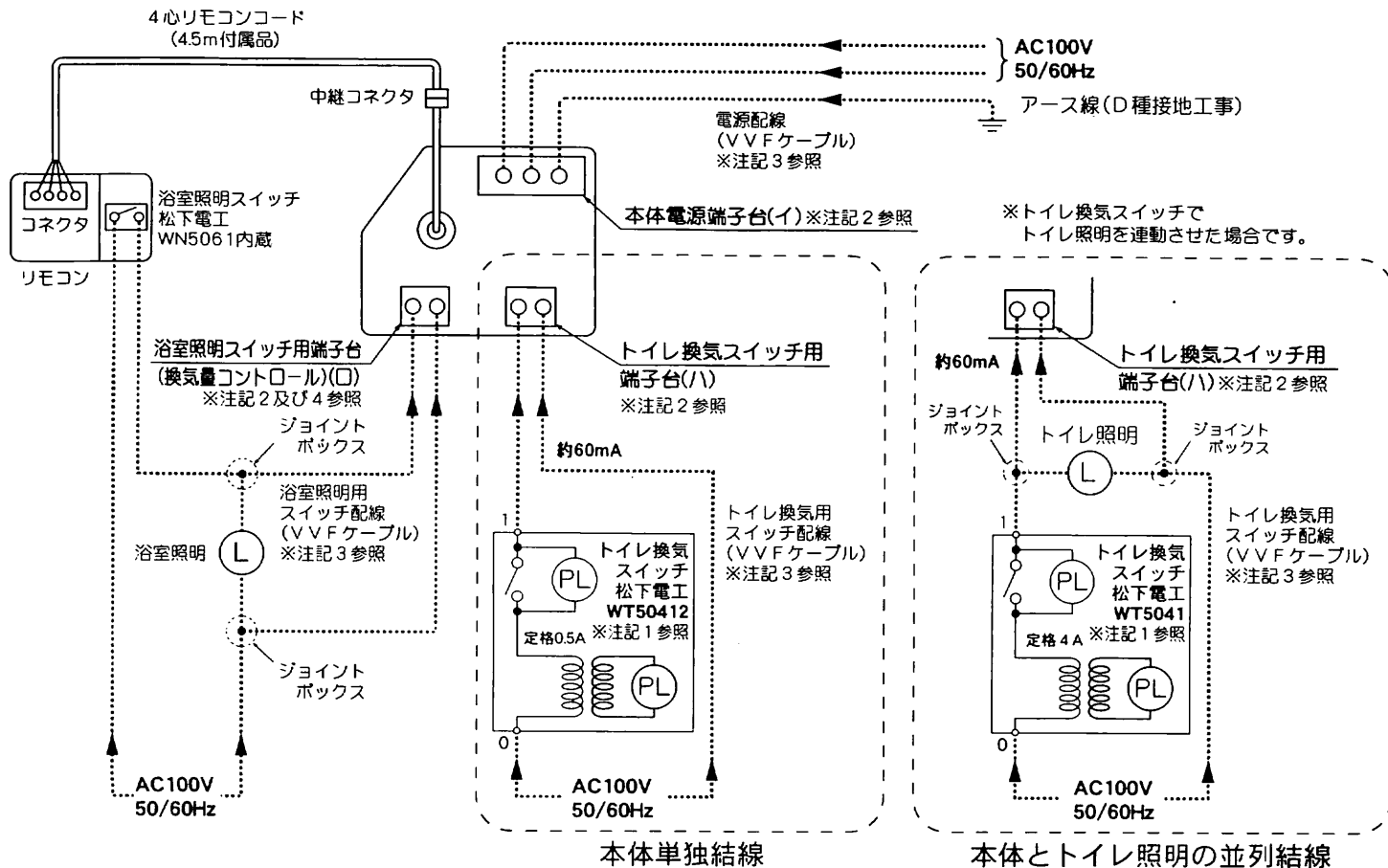
この電源端子台はφ1.6~φ2.0mmの単線専用です。より線は接触不良により発熱の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

- ① 下記結線図を参照し、各ケーブルを結線してください。ケーブルはVVFケーブルφ1.6~φ2.0mm単線を使用してください。
- ② リモコンコードをリモコン取付位置まで配線してください。リモコンコード先端のコネクタを保護しコードの心線に無理な力がかからないように注意してください。
- ③ 各ケーブルを本体のコードクランプで固定してください。

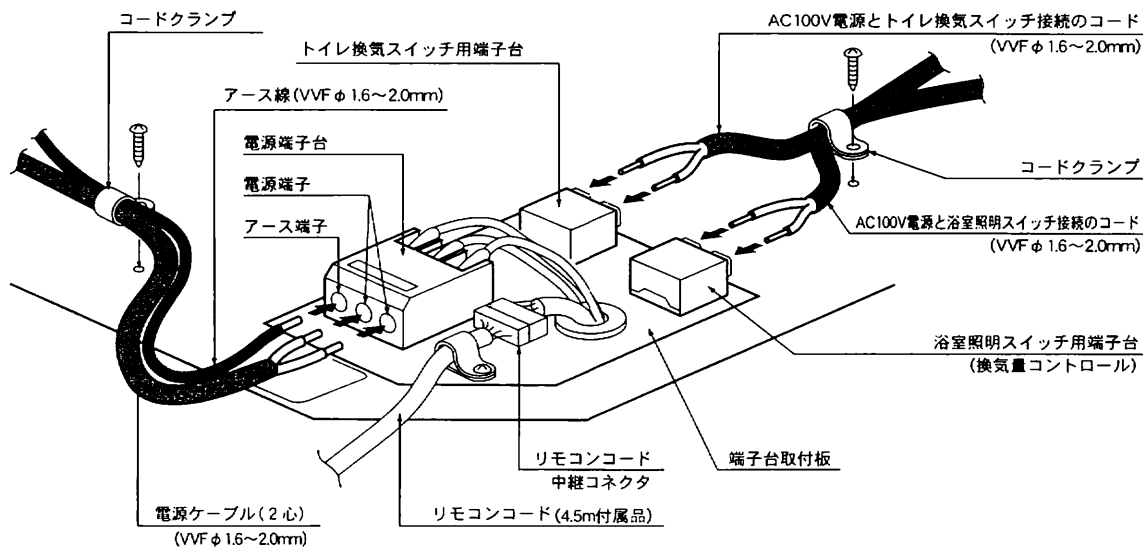
**結線図 (BS-763HII)**



# 結線図 (BS-763H IINL)



## 実体配線図 (共通)



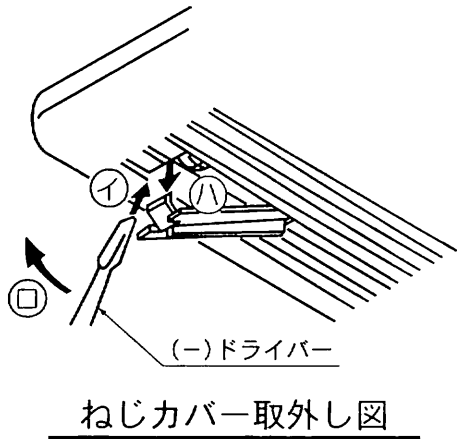
### ⚠ 結線図に関する注記

1. トイレ換気スイッチは、上記に示す品番のものを使用してください。上記以外のスイッチを使用したいときは、弊社営業担当へ必ずお問い合わせください。
2. 端子台(イ)(口)(ハ)の内部ではそれぞれAC100Vを相互に絶縁していますので、極性に関係無く、しかも同相でも別相でも問題ありません。
3. VVFケーブル及びアース線はφ1.6~φ2.0mmの単線を使用してください。
4. 浴室照明スイッチ入力端子台(換気量コントロール)へは必ず浴室照明器具の両端から配線し接続してください。換気量コントロール信号は浴室照明が点灯したとき風量を下げる機能です。接続しない場合は、この機能はキャンセルされます。
5. 浴室照明スイッチは片切りスイッチ(松下電工WN5061)を使用してください。それ以外のスイッチを使用したいときは、弊社営業担当へ必ずお問い合わせください。

# 10 フロントパネルの取り付け

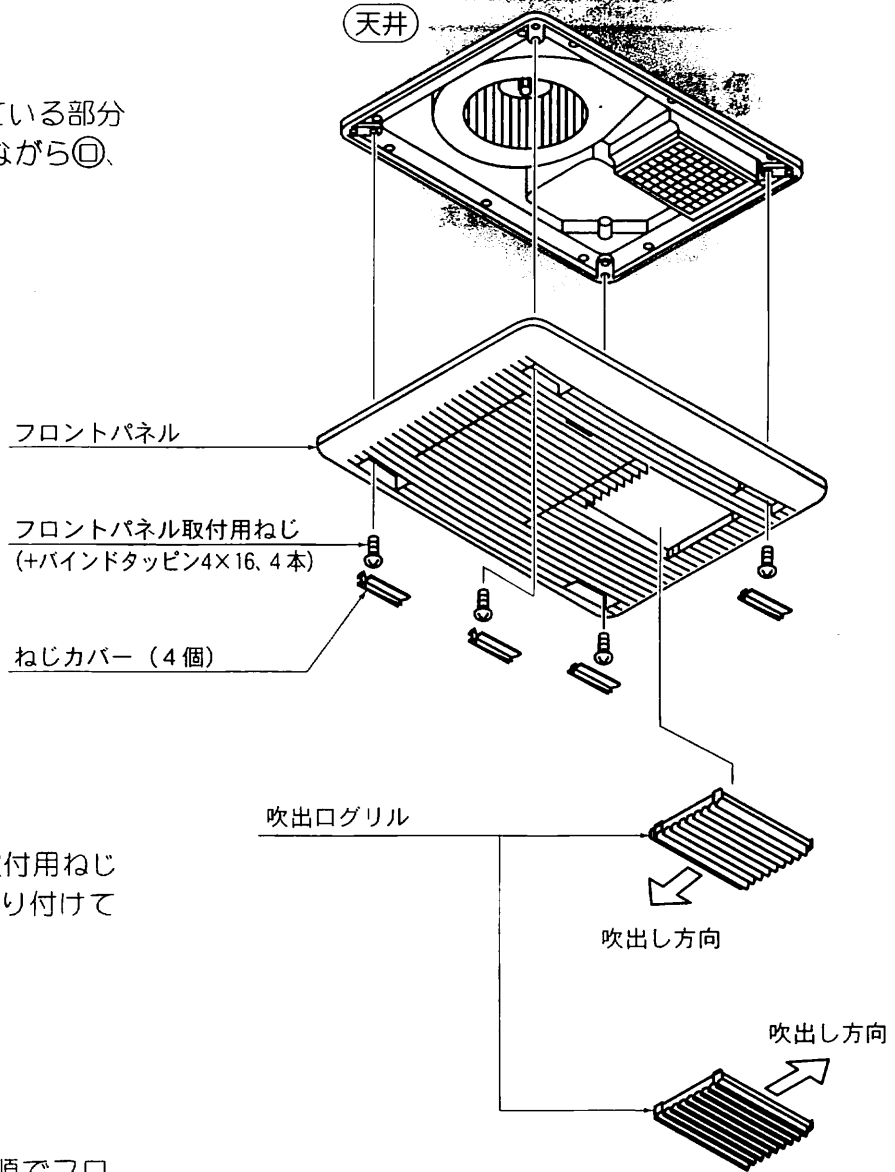
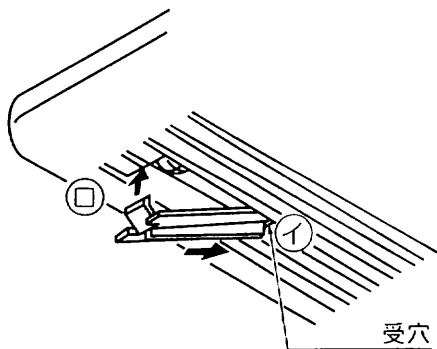
① フロントパネルを取り付ける前に、吹出口グリルの吹出し方向が洗い場側を向くように、吹出口グリルを取り付け直してください。

② ねじカバー取外し図の手順で、フックされている部分に(-)ドライバーを入れて①、かるく押しながら②、取り外してください③。



③ フロントパネルを、付属のフロントパネル取付用ねじ(+バインドタッピン4×16)4本で本体に取り付けてください。

④ ねじカバー4ヶを、ねじカバー取付図の手順でフロントパネル受穴に引掛け①、取り付けてください②。



※ フロントパネルを取り付ける前に、吹出し方向を洗い場側に向けてください。

**取付方向注意!**

## ⚠ 注意

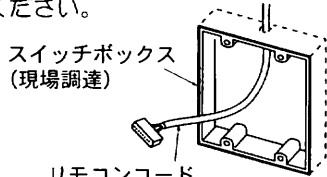


取付注意

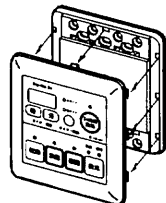
- 電気工事は電気設備技術基準や内線規定に基づき、電気工事士の免許を持った方が行ってください。
- リモコンはお客様と打ち合わせて、操作に便利な位置に取り付けてください。
- リモコンは洗面脱衣室など、必ず浴室外に取り付けてください。防水構造になっていないので、浴室には取り付けしないでください。
- リモコンと本体は4.5m、4心コードで接続します。リモコンコードは本体に接続されています。壁にリモコンコードを通線する時は、先端のコネクタ、接続電線部分を保護して作業を行ってください。また、通線の途中でリモコンコードが尖ったものへ接触したり、こすれたりしないように施工してください。断線や故障の原因となります。
- 電気工事は必ず分電盤の浴室換気・乾燥・暖房機のブレーカーを切って行ってください。

### イ. スイッチボックスを使用する場合

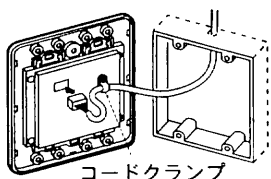
- ①取付場所に事前にスイッチボックス (JIS2連;現場調達) を取り付けておいてください。



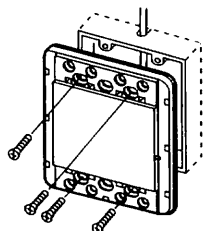
- ②リモコンカバーを取り外してください。



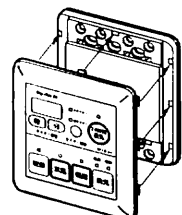
- ③リモコン裏のソケット (4P) にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
- ④リモコンコードをコードクランプで固定してください。



- ⑤スイッチボックス用取付ねじ (現場調達) 4本でリモコン本体をスイッチボックスに取り付けてください。ねじは締めすぎないように注意してください。



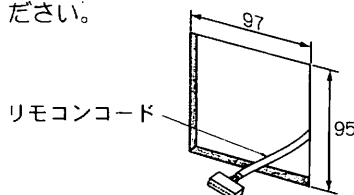
- ⑥リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



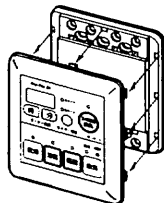
### ロ. 市販のはさみ金具を使用する場合

このリモコンに使用可能か確認のうえ使用してください。

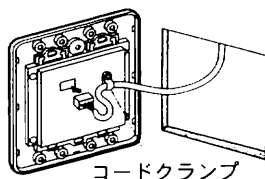
- ①取付場所に穴 (97×95mm) を開けてください。



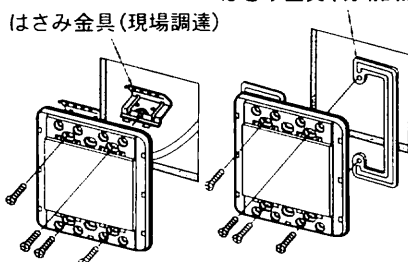
- ②リモコンカバーを取り外してください。



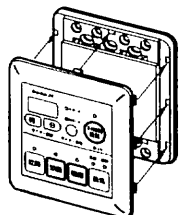
- ③リモコン裏のソケット (4P) にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
- ④リモコンコードをコードクランプで固定してください。



- ⑤各はさみ金具 (現場調達) の取り付け方法で取り付けてください。ねじを締めすぎないように注意してください。



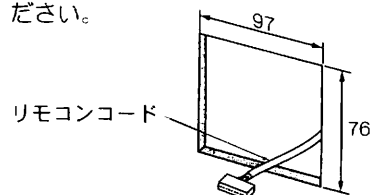
- ⑥リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



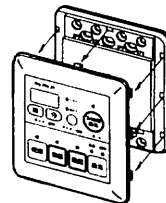
### ハ. 壁へ直接取付ける場合

ねじが効きにくい壁には、事前に裏補強するか、カールプラグなどを使用してください。

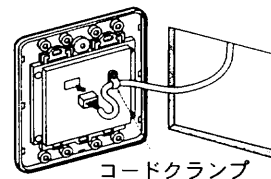
- ①取付場所に穴 (97×76mm) を開けてください。



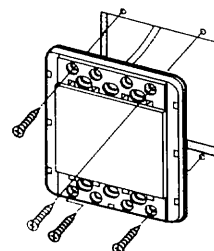
- ②リモコンカバーを取り外してください。



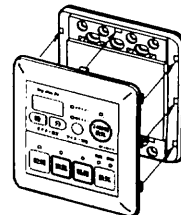
- ③リモコン裏のソケット (4P) にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
- ④リモコンコードをコードクランプで固定してください。



- ⑤付属の+皿タッピンねじ 4×35 (リモコン取付用) 4本でリモコン本体を壁に取り付けてください。ねじを締めすぎないように注意してください。



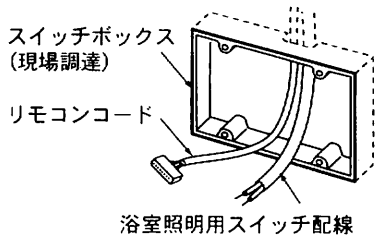
- ⑥リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



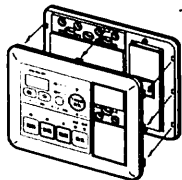
# 11.2 リモコンの取り付け・BS-763HⅡNL

## イ. スイッチボックスを使用する場合

①取付場所に事前にスイッチボックス (JIS3連;現場調達) を取り付けておいてください。

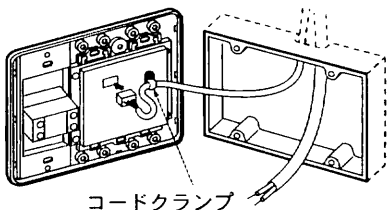


②リモコンカバーを取り外してください。

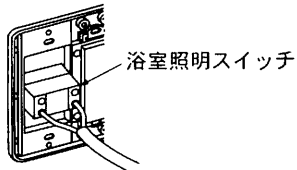


③リモコン裏のソケット (4P) にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。

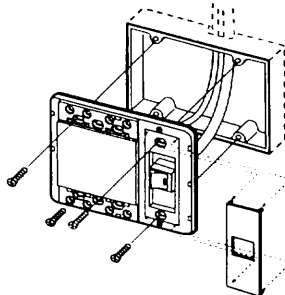
④リモコンコードをコードクランプで固定してください。



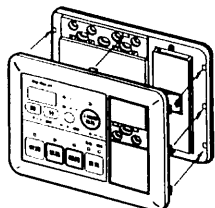
⑤浴室照明用スイッチ配線を、浴室照明スイッチに確実に差し込んでください。



⑥スイッチボックス用取付ねじ (現場調達) 4本でリモコン本体をスイッチボックスに取り付けてください。ねじは締めすぎないように注意してください。



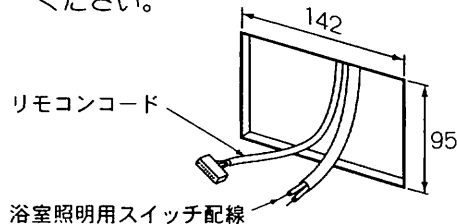
⑦リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



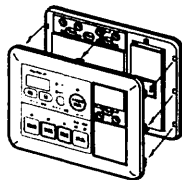
## ロ. 市販のはさみ金具を使用する場合

このリモコンに使用可能か確認のうえ使用してください。

①取付場所に穴 (142×95mm) を開けてください。

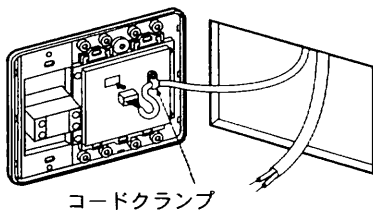


②リモコンカバーを取り外してください。

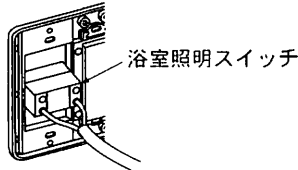


③リモコン裏のソケット (4P) にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。

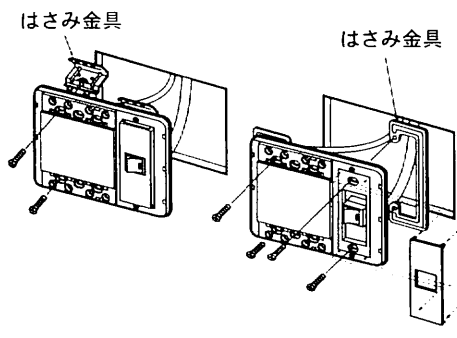
④リモコンコードをコードクランプで固定してください。



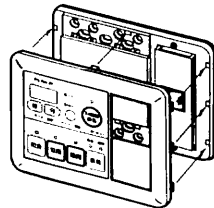
⑤浴室照明用スイッチ配線を、浴室照明スイッチに確実に差し込んでください。



⑥各はさみ金具 (現場調達) の取付方法で取り付けてください。ねじは締めすぎないように注意してください。



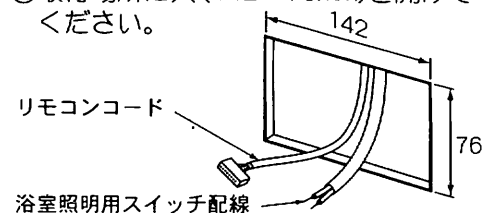
⑦リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



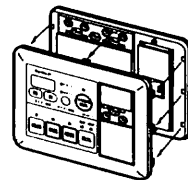
## ハ. 壁へ直接取り付ける場合

ねじが効きにくい壁には、事前に裏補強するか、カールプラグなどを使用してください。

①取付場所に穴 (142×76mm) を開けてください。

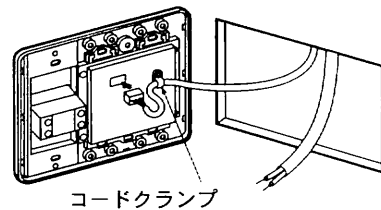


②リモコンカバーを取り外してください。

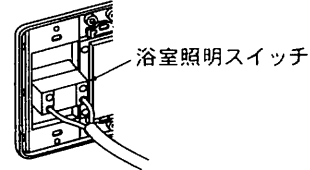


③リモコン裏のソケット (4P) にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。

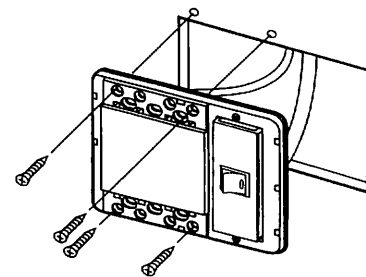
④リモコンコードをコードクランプで固定してください。



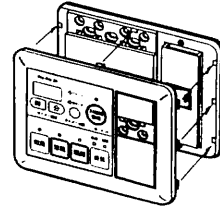
⑤浴室照明用スイッチ配線を、浴室照明スイッチに確実に差し込んでください。



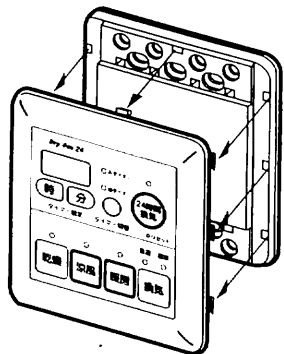
⑥付属の+皿タッピンねじ4×35 (リモコン取付用) 4本でリモコン本体を壁に取り付けてください。ねじは締めすぎないように注意してください。



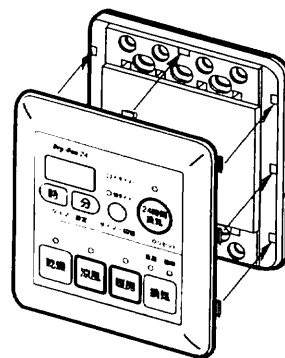
⑦リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



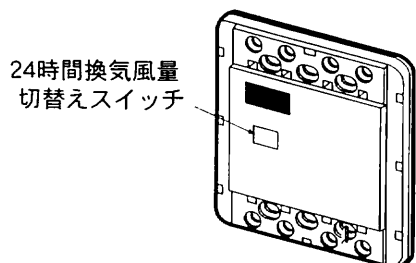
① リモコンカバーを取り外してください。



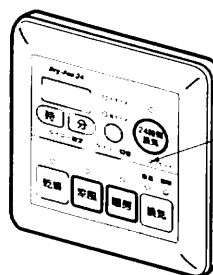
③ リモコンカバーを取り付けてください。



② 24時間換気風量切替えスイッチを設定してください。各設定に関する目安値は下表を参考としてください。



④ 電源が入っている場合は、リセットボタンを押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押す時は必ず浴室、居室のドアと窓を閉め、浴室ドアの空気取入口と居室や台所の外気取入口等を開けた状態でしてください。

### 床面積に対する設定の目安

設定	風量 (m <sup>3</sup> /h)	床面積 (m <sup>2</sup> )	24時間換気風量切替えスイッチ		☒
			1	2	
弱	60	61以下	下	上	スイッチ 
中	80	61を越え 81以下	上	下	スイッチ 
強	100	81を越え 102以下	下	下	スイッチ 
特強	120	102を越え 122以下	上	上	スイッチ 

工場出荷時設定 →

※工場出荷時は“中”設定になっています。

[注意] 現場によって多少設定が変わる場合もあります。

- 最初の項目の「安全のために必ずお守りください」が守られているか、確認してください。
- 浴室、居室のドアと窓を閉め、浴室ドアの空気取入口と居室や台所の外気取入口等を開けた状態で、分電盤のブレーカーを入れてください。ブレーカーを入れると乾燥ランプとタイマー時間表示が点滅します。  
(電源投入後、約2分間ダクトの圧力損失を計測するための調整運転を自動的に行います。調整運転終了後、本体の動作は停止し、乾燥ランプとタイマー時間表示の点滅がのこります。)
- [注意]ダクト配管前と配管後では、圧力損失の計測値が異なりますので、必ずダクト配管後に、浴室、居室のドアと窓を閉め、浴室ドアの空気取入口と居室や台所の外気取入口等を開けた状態で、電源の再投入を行ってください。
- ※ 運転が切り替わるとき、『暖房』⇄『涼風』、『換気』⇄『24時間換気』動作時を除き本体はファンが一旦停止し、再度動作するまで十数秒かかります。
- 試運転を始める前に、浴室の照明スイッチとトイレの換気スイッチ切ってください。

## ★乾燥モードの確認

1. 乾燥ボタンを押してください。
2. 乾燥ランプが点灯したことを確認してください。
3. 温風吹出口から温風が出ていることを、手で確認してください。
4. このとき洗面所・トイレの各吸込グリルから風が吸い込まれることを、薄紙などを吸いつかせて確認してください。
5. 乾燥ボタンを押してください。
6. 乾燥ランプが消灯し、運転が停止したことを確認してください。

## ★涼風モードの確認

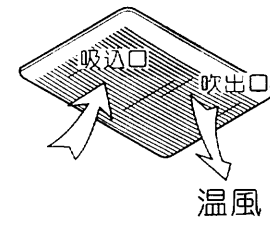
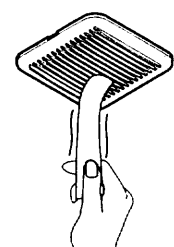
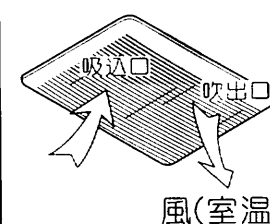
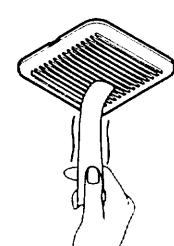
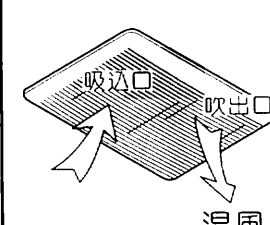
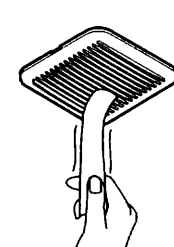
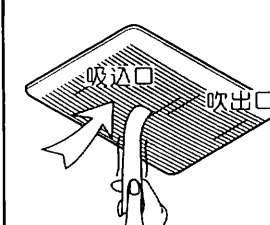
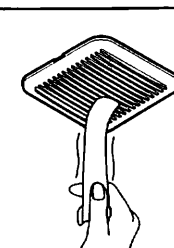
7. 涼風ボタンを押してください。
8. 涼風ランプが点灯したことを確認してください。
9. 温風吹出口から風(室温)が出てくることを、手で確認してください。
10. このとき洗面所・トイレの各吸込グリルから風が吸い込まれることを、薄紙などを吸いつかせて確認してください。
11. 涼風ボタンを押してください。
12. 涼風ランプが消灯し、運転が停止したことを確認してください。

## ★暖房モードの確認

13. 暖房ボタンを押してください。
14. 暖房ランプが点灯したことを確認してください。
15. 温風吹出口から温風が出てくることを、手で確認してください。
16. このとき洗面所・トイレの各吸込グリルから風が吸い込まれることを、薄紙などを吸いつかせて確認してください。
17. 暖房ボタンを押してください。
18. 暖房ランプが消灯し、運転が停止したことを確認してください。

## ★換気モードの確認

19. 換気ボタンを押してください。
20. 換気急速ランプが点灯したことを確認してください。  
※ ボタンを押すごとに急速ランプ点灯⇒標準ランプ点灯⇒消灯します。
21. このとき洗面所・トイレの各吸込グリルから風が吸い込まれることを、薄紙などを吸いつかせて確認してください。
22. 換気ボタンを押し、換気標準ランプを点灯させてください。
23. このとき浴室の吸込口と洗面所・トイレの各吸込グリルから吸い込まれる風量が低下したことを薄紙などを吸いつかせて確認してください。  
※ 吹出口から少し風が出てきますが異常ではありません。
24. 換気ボタンを押してください。
25. 換気標準ランプが消灯し、運転が停止したことを確認してください。

	浴室	洗面所・トイレ
乾燥		
涼風		
暖房		
換気		

## ★24時間換気モードの確認

26. 24時間換気ボタンを押してください。
27. 24時間換気ランプが点灯したことを確認してください。
28. このとき浴室の吸込口と洗面所・トイレの各吸込グリルから風が吸い込まれることを薄紙などを吸いつかせて確認してください。
29. 浴室の照明スイッチをいれてください。
30. このとき浴室の吸込口と洗面所・トイレの各吸込グリルから吸い込まれる風量が低下したことを薄紙などを吸いつかせて確認してください。
31. 浴室の照明スイッチを切ってください。
32. このとき浴室の吸込口と洗面所・トイレの各吸込グリルから吸い込まれる風量が増加したことを薄紙などを吸いつかせて確認してください。

## ★トイレスイッチの動作確認

33. トイレの換気スイッチを入れ、トイレの吸込グリルと浴室の吸込口、洗面所の吸込グリルから吸い込まれる風量が増加したことを薄紙などを吸いつかせて確認してください。
34. トイレの換気スイッチを切り、トイレの吸込グリルと浴室の吸込口、洗面所の吸込グリルから吸い込まれる風量が低下したことを薄紙などを吸いつかせて確認してください。
35. 24時間換気ボタンを3秒以上押してください。
36. 24時間換気ランプが消灯し、運転が停止したことを確認してください。

## ★タイマー設定の確認

37. 乾燥ボタンを押してください。
  38. 切タイマーランプが点灯していることを確認してください。
  39. タイマー表示時間が、3:00を表示していることを確認してください。
  40. タイマー設定ボタンの「時」を押し、表示が3:00→4:00→…→12:00→1:00→2:00→3:00と変わることを確認してください。  
「分」を押し、表示が3:00→3:10→3:20→…→3:50→3:00と変わることを確認してください。
- ※ 時間の初期設定は、乾燥・涼風・換気の切タイマー表示は3:00、暖房は1:00となっております。  
入タイマーは、乾燥・涼風・暖房・換気ともすべて4:00となっております。  
24時間換気にはタイマー設定はありません。

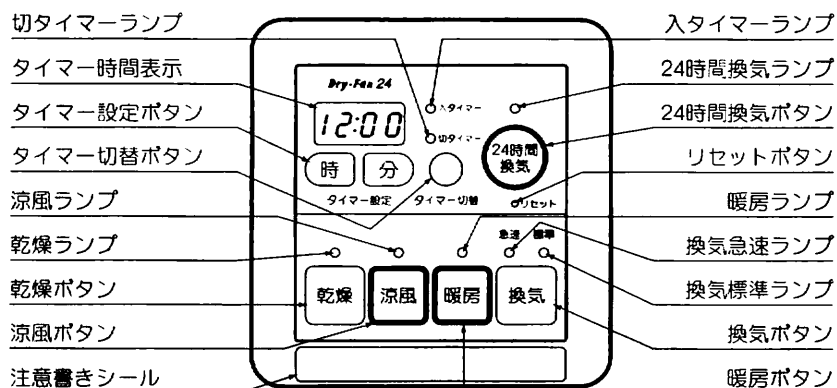
## ★停止の確認

41. リセットボタンを押し、乾燥ランプとタイマー時間表示が点滅し、数秒後、本体が約2分間の調整運転を行ったあと、動作が停止することを確認してください。
42. 浴室、居室のドアと窓を閉め、浴室ドアの空気取入口と居室や台所の外気取入口等を開けた状態で、再度リセットボタンを押してください。
43. 乾燥ボタンを押してください。乾燥運転が始まります。
44. 再度乾燥ボタンを押し、乾燥ランプが消灯し、動作が停止していることを確認して試運転を終了してください。

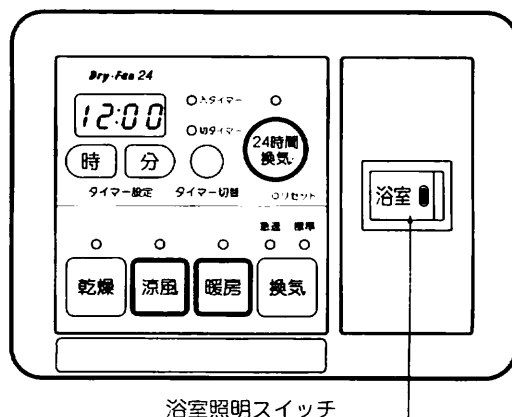
●くわしい使用方法は取扱説明書を参照してください。

## リモコン

BS-763H II



BS-763H II NL



☆「時」ボタンは時間表示が

『××:00』以外の時、下記のように変化します。

3:30→4:30→5:30→…

12:30→0:30→1:30→…

時間表示が『××:00』の時、下記のように変化します。

3:00→4:00→5:00→…

12:00→0:10→1:10→…

☆「分」ボタンは時間表示が

『0:××』以外の時、下記のように変化します。

1:00→1:10→1:20→…

1:50→1:00→1:10→…

時間表示が『0:××』の時、下記のように変化します。

0:10→0:20→…

0:50→0:10→0:20→…

☆「時」「分」ボタンとも、1秒以上押し続けると連続で変化します。

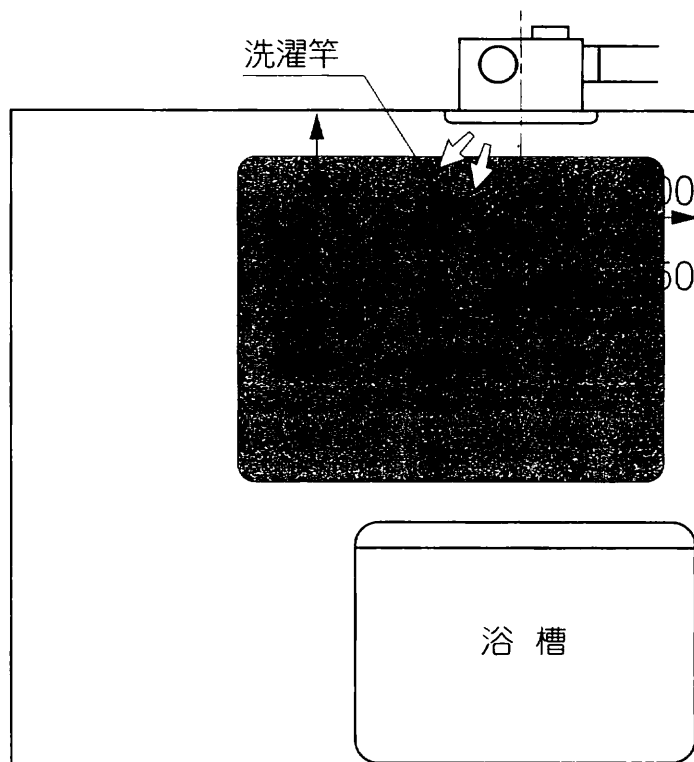
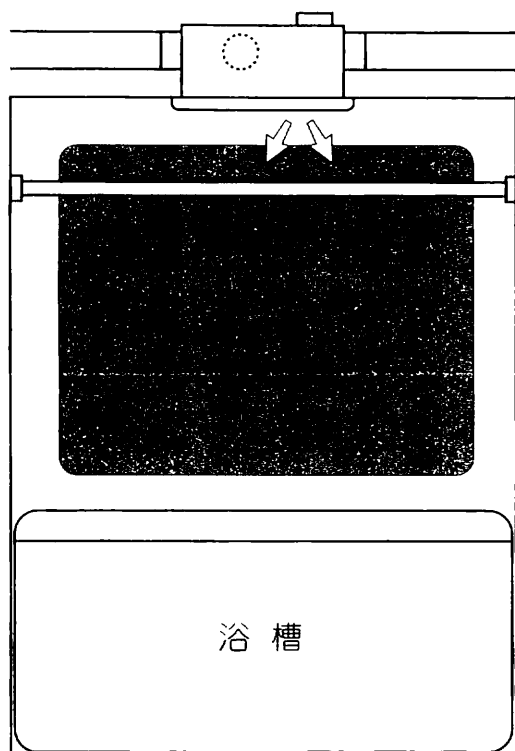
・時間表示は『00:00』には設定できません。

・タイマーは乾燥・涼風・暖房・換気の各モードすべてに設定され連続運転はできません。

・24時間換気モードは連続運転となります。



## 14 衣類乾燥範囲と洗濯竿の取り付け（参考）

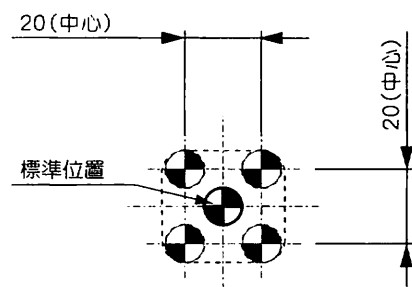
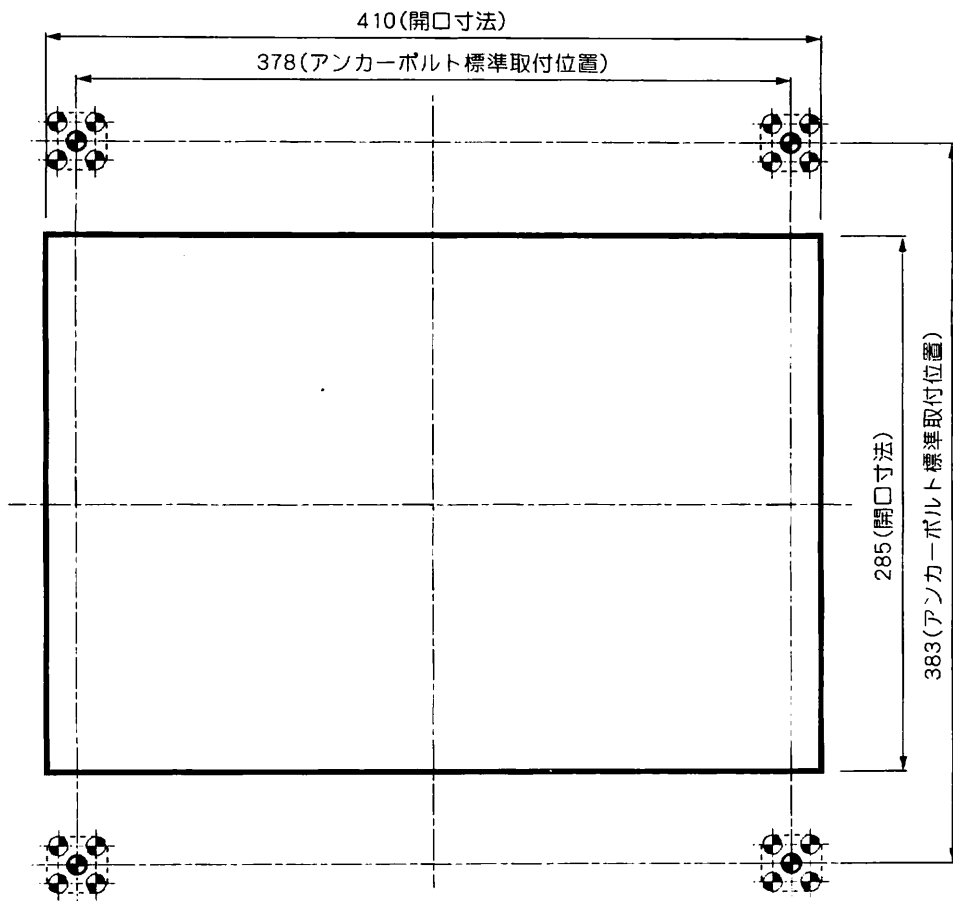


- ・洗濯竿は、必ず1本あたり10kg以上の重量に耐える不燃性と耐蝕性の品質を選んでください。
- ・洗濯竿の取付位置は、図を参考に取付けてください。（取付位置により乾燥時間が変化します。）  
天井が高い場合や障害物等があり洗濯竿が上記推奨位置に取り付かない場合は、下方向にずらして取付けてください。ただし、乾燥時間が長くなります。
- ・洗濯竿の取り付けは、十分強度が得られるよう補強材などを入れ、確実に行ってください。

## 15 現場調達部材

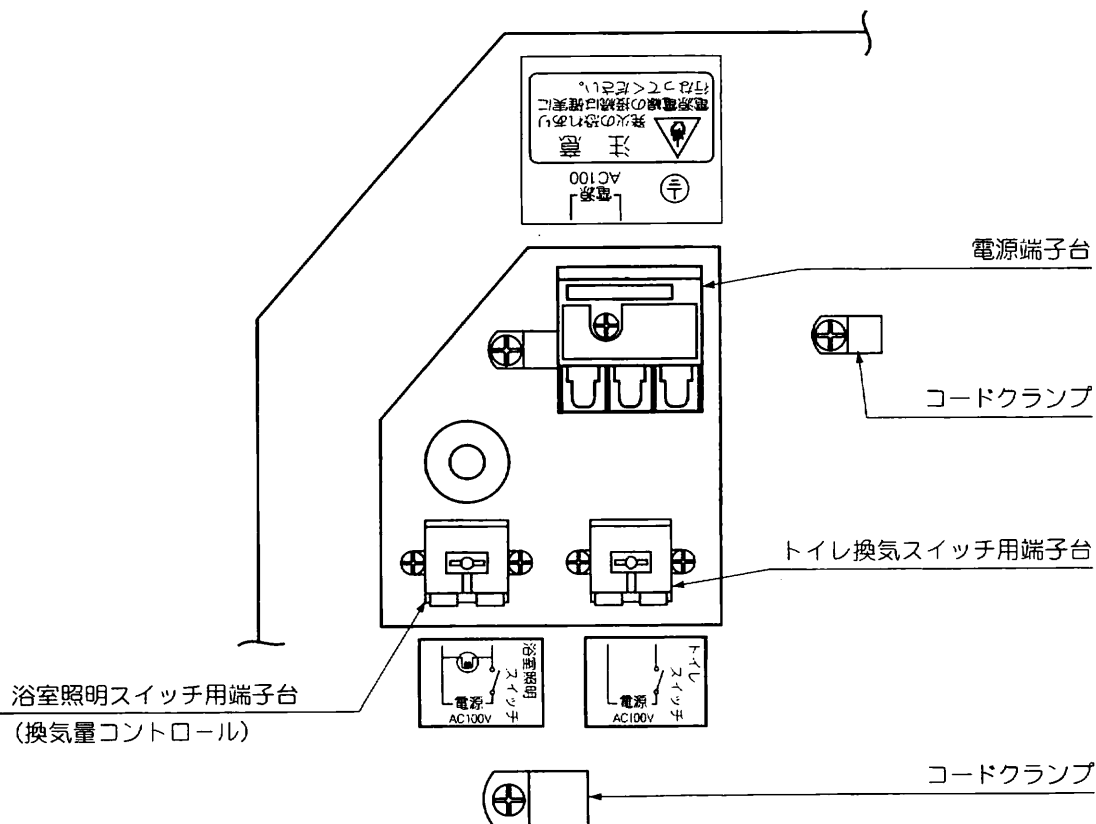
- スパイラルダクト、アルミフレキシブルダクト（φ100）
- VVFケーブル（φ1.6～2.0mm）
- アルミテープ
- ベントキャップ（φ100用）……………1ヶ
- 天吊り用アンカーボルト（M10）……………4本 →天吊り仕様の場合
- ナット（M10）……………16ヶ →天吊り仕様の場合
- スイッチボックス（BS-763HⅡ：JIS2連、BS-763HⅡNL：JIS3連）と取付用ねじ  
→スイッチボックス仕様の場合
- はさみ金具と取付用ねじ→はさみ金具仕様の場合

# 天吊り仕様の場合の本体取付寸法図(縮尺1/4)



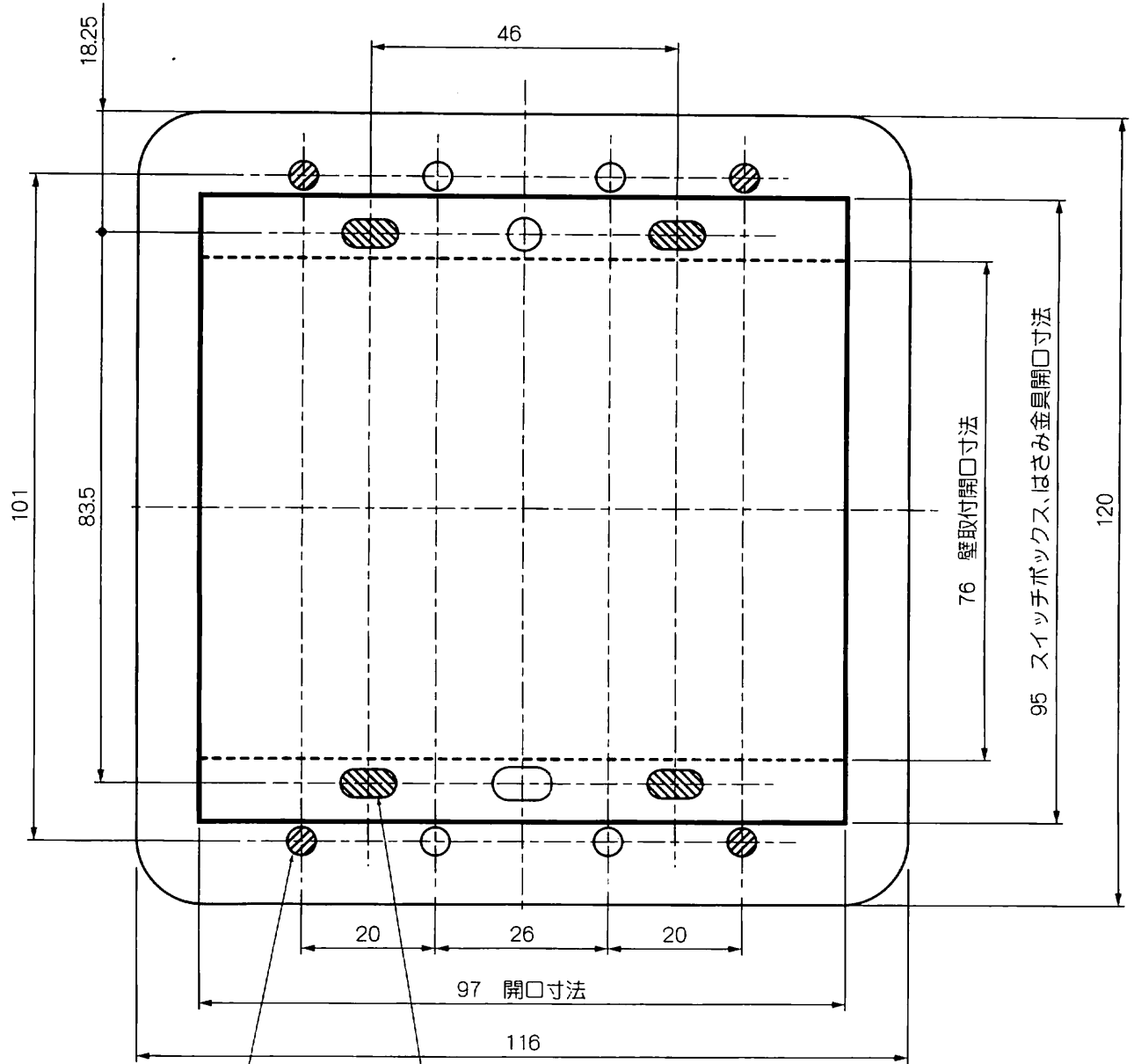
アンカーボルト取付可能範囲  
(縮尺1/2 4ヶ所共通)

## 端子台取付部



# リモコン取付寸法図(原寸)

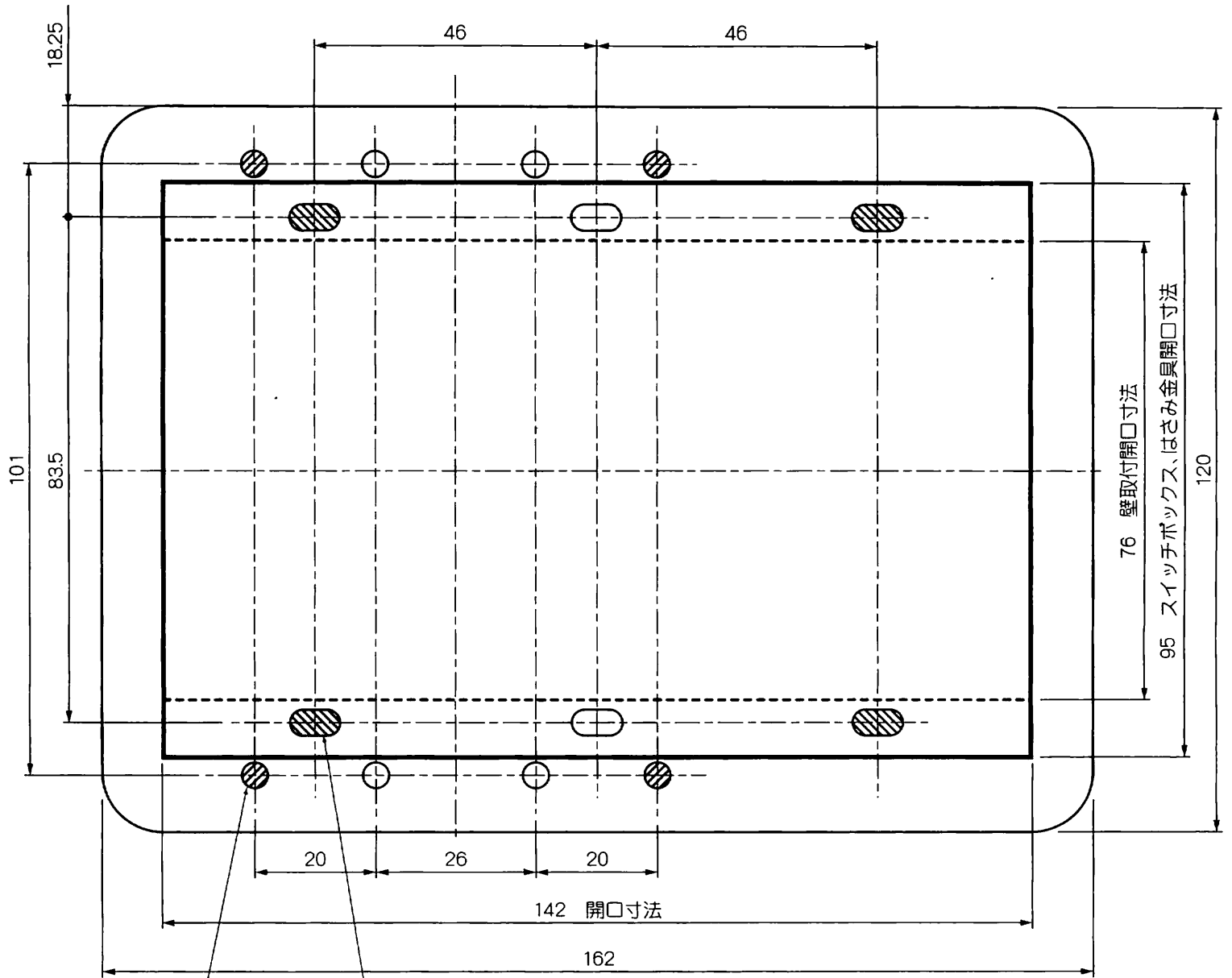
※リモコン裏面図



スイッチボックス、はさみ金具仕様で  
使用する長穴(4ヶ所)

壁取付仕様で使用する穴(4ヶ所)

※リモコン裏面図



スイッチボックス、はさみ金具仕様で  
使用する長穴(4ヶ所)

壁取付仕様で使用する穴(4ヶ所)

- 取扱説明書の裏表紙の保証書に、販売店名、住所、電話番号、取付年月日を記入の上、この施工説明書と共にお客様に必ず保管していただくように依頼してください。



0120-011-408

**MAX** マックスシンワ株式会社

〒333-0843 埼玉県川口市前上町18-20  
TEL 048-266-3311(代) FAX 048-266-3792